

新潟産大付 初戦突破



花咲徳栄—新潟産大付 県勢7年ぶりの甲子園白星を挙げ、喜ぶ新潟産大付の選手たち=9日、甲子園

新産大付
花咲徳栄

0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

新潟産大付は新潟大会で初優勝し、柏崎勢で初めての夏の甲子園出場を果たした。

二、四、五回に得点機を築いたが、得点はできなかった。しかし、好守備や積極的な走塁でリズムをつかみ、逆転につなげた。

先発の宮田墨翔投手は、二回に犠飛で先制を許したが、崩れることなく五回までを1失点で切り抜けた。

六回以降は、救援した田中拓朗投手が好投し無失点に封じ、投手戦を制した。

0-1で迎えた六回に、千野虹輝選手の適時二塁打で追い付いた。続く七回は、多田大樹選手が適時打を放ち、勝ち越しに成功した。

第106回全国高校野球選手権は9日、兵庫県西宮市の甲子園球場で1回戦を行い、本県代表で初出場の新潟産大付は埼玉県代表の花咲徳栄に2-1で逆転勝ちし、県勢7年ぶりの白星を挙げた。柏崎勢としては、春夏を通じて甲子園初勝利となった。

第106回全国高校野球選手権は9日、兵庫県西宮市の甲子園球場で1回戦を行い、本県代表で初出場の新潟産大付は埼玉県代表の花咲徳栄に2-1で逆転勝ちし、県勢7年ぶりの白星を挙げた。柏崎勢としては、春夏を通じて甲子園初勝利となった。

甲子園 県勢7年ぶり
7回勝ち越し
花咲徳栄下す